

中央家保便り

平成28年7月発行
沖縄県農林水産部
中央家畜保健衛生所
南城市大里字平良2505
TEL
(098) 945-2297
FAX
(098) 945-3467

豚コレラが済州島(韓国)で 確認されました！

発生状況

6月28日、韓国済州島で豚コレラの発生が確認されています。

韓国としては3年ぶり (韓国本土はワクチン実施中)
済州島としては18年ぶり (済州島は1998年からワクチン中止)

豚コレラとは

- 【原因】 豚コレラウイルス
- 【感染源】 感染豚や汚染物品等との接触
(冷凍肉では半年以上と長期間生存する)
- 【症状】 発熱、食欲不振、紫斑(チアノーゼ)など様々
(強い伝染力と高い致死率が特徴)
- 【潜伏期間】 一般的に5~7日(短い場合で2日)

食品残渣は発生原因の一つとされています。
食品残渣は、適切に処理(70℃・30分または80℃・3分
の加熱)されたものを給与してください。

牛異常産を予防しましょう

1. 牛の異常産を引き起こす病気

アカバネ病、アイノウイルス感染症、チュウザン病



妊娠母牛が感染

↓
母牛は症状を示さないが胎児は感染

↓
流死産、奇形および異常子牛の発生などを引き起こす

2. 原因

蚊などの吸血昆虫により、ウイルスが媒介されます



3. 予防 これらの病気は、ワクチン接種で未然に防ぐことが可能です！

家保では以下の予防注射を実施しています。

- ①種類 : 牛異常産3種(アカバネ・アイノ・チュウザン)混合不活化ワクチン
- ②対象 : 種付1ヶ月後～分娩1ヶ月前の牛または空胎牛
※特に保留牛、未經産牛は積極的な接種をおすすめします。
- ③接種方法: 初年度は2回、翌年からは年1回(筋肉注射)
- ④手数料 : 1頭1回1,400円です。

接種の日程に関しては、各市町村にお問い合わせください。

県外導入豚はオーエスキー病の 検査が必要です

オーエスキー病とは、オーエスキー病ウイルスを原因とした豚の伝染病です。感染すると、**妊娠豚は流産など異常産を起こし、子豚は神経症状を起こして死亡**します。

日本では届出伝染病に指定されています。

沖縄県での対策

本県は「清浄県」であることから、侵入防止を第一義とした防疫対策を「県外導入豚着地検査実施要領」に基づき実施しています。

- ① 県外からの導入は種豚改良等のための必要最小限
- ② 導入はオーエスキー病清浄地域からのみ
- ③ 導入豚は県の隔離施設で一定期間着地検査を実施

着地検査とは

着地検査は久米島にある隔離施設で行います。施設到着後3日以内に臨床検査及び抗体検査、さらにその約14日後、同様の検査を行い、陰性が確認されたら解放され各農場に導入されます。
(着地検査期間中の発症豚、抗体陽性豚は淘汰します)

〈 ※ 検査日程の例 〉

久米島着	1回目検査	2回目検査	解放
↓	↓	↓	↓
8/1	8/3	8/17	8/22

養豚関係だけでなく、ペットのミニブタも対象です！！

検査手数料

1頭1回400円です。

豚流行性下痢(PED)に注意！！

PEDは、PEDウイルスを原因とした伝染病で感染すると下痢や嘔吐します。すべての日齢で感染しますが、哺乳豚の死亡率が高い病気です。

発生状況

	発生日	形態	症状(通報時)
1例目	H28.6.6	繁殖	哺乳豚の下痢
2例目	H28.6.9	一貫	母豚の嘔吐、下痢

- PEDウイルスを侵入させない！
- おかしいな？と思ったらすぐ相談！

侵入防止対策の徹底、早期通報による早期対応に努め、被害を最小限に抑えましょう。

農場へ病原体を持ち帰らないために

- タイヤ、荷台などの消毒を徹底しましょう
- 運転席、ハンドル、足マットなど車両内も消毒しましょう
- 帽子、長靴、作業着などは農場専用のものを使いましょう

沖縄県中央家畜保健衛生所 TEL 098-945-2297
HPアドレス <http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/kahochuo/press/kahodayori.html>